小規模多機能型居宅介護
「サービス評価」

厚生労働省の示す運営基準による義務付け

「事業所は提供するサービスの質を自ら評価するとともに、定期的に外部の者による評価を受けて、それらの結果を公表すること」

資料「総括表」　を御参照ください

A.事業所自己評価の確認

- H29年度改善計画の実施状況について、常勤とパートスタッフの計7名が評価
- 来年度の改善計画を策定
- 診療所・見守り支援委員から意見をもらいます

資料「事業所評価」を御参照ください

A.事業所自己評価の確認

＜H29年度改善計画＞

- 隔月での個人面談
- タスクリストでの情報共有
- 利用者も見守り支援で地域の高齢者と一緒に誕生日会をする

B.事業所のしつらえ・環境

＜H29年度改善計画＞

- 事業所内での噂話を減らす
- 来所者の受け入れ時間を決める
- 屋外での活動を増やす
- 来所者への手洗いうがいの啓発

散歩の途中に
2:00～4:00
麦茶
コーヒー
紅茶
バジルの苗
あります。

B.事業所のしつらえ・環境についてご意見ください

- （例）〇〇の取り組みはもっと××のようにしてほしい
- 看板があることで、観光の方と利用者の接点もできていた
- イマキラ園　快くランチ会などで交流できた
- 散歩の休憩場所として利用できている
- 椅子の利用が活発になったらいいんじゃないか

C.事業所と地域のかかわり

＜H29年度改善計画＞

- 高齢者が集まる場づくり
- 「世話になる場」でなく「自分でできることを助ける場」であることを知ってもらう
- 地域資源との連携

C.事業所と地域のかかわりについてご意見ください

- 生活科の授業で受け入れてもらった。高齢者との触れ合いや制作活動ができてよかった。
- 学校イベントに、車の送迎などにより地域の高齢者がたくさんきてくださった。
- カレー炊き出し　イマキラの子は楽しんでいた
- たからの利用者と地域との接点は作れていたが、地域の高齢者と地域の方の接点ができない
- 老人会　生きがいづくりなど今後も協力してほしい

D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み

＜H29年度改善計画＞

- スタッフが地域に出向き地域の高齢者とつながる
- スタッフだけで問題解決をしない
- 田畑を利用した交流

D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組みについてご意見ください

- 台風に対して青年団として動きやすかった
- 細かなことでも頼みごとがあれば動きたい
- ごみの分別の理解ができてないこともある（高齢者だけではないが）

E.運営推進会議

＜H29年度改善計画＞

□地域課題を必要に応じて話し合う

E.運営推進会議について
ご意見ください

- 高齢者の支援体制が手厚いことは良いが、手を差し伸べすぎるのではないか心配
- 腹を割って話せる場
-

F.事業所の防災・災害対策

＜H29年度改善計画＞

- 近隣教員との関係を4月中につくる
- 隔月での防災訓練
- 消防団との情報共有

F.事業所の防災・災害対策について
ご意見ください

- 情報共有がリアルタイムでできなかった。共有方法が具体的に決まっていない。
- 地域の防災訓練　医療従事者の立ち位置が村で明確に決められてない。連絡体制を作っておいたほうがいい。
- 自主防災組織の理解を進める必要がある。避難時の点呼など、消防団じゃなく自治会組織で動くべき。

年間事業計画

- H29年度　実施内容
- H30年度　年間事業計画

資料「年間事業実施内容・計画」を御参照ください

見守り支援事業

見守り支援事業との連携を強化

月・水　午前　個別体操
木曜日　午後　コミセン　健康体操教室

来年度中に、ホームたから敷地内に見守り支援事業の場所として建築予定している

- 若い人に講師として入って欲しい
- 前期高齢者「まだ見守られる年じゃない」支援が必要な方だけでなく、幅広い年代が集まる場になれば
- ゴミ拾いウォーキング
- ゲームセンターに高齢者が集まっていて体操が行われているところがある。体操を目的に集まるのではなく、他の目的で集まって体操をいれてみては。
- 見守り支援の活動が周知されてない
- 温泉センターのトレーニングマシーン

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	２０１８．３．１４
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	米倉　國部　川原　宮前　平田　前田　中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	３人	４人	人	人	７人

前回の改善計画

・気になる高齢者(特に入退院等変化のあった時)、その家族とコミュニケーションをとり、スタッフや看護師、見守り支援員と共有するために、ミーティングノートに確認サイン、 追記ができたか。
・地域からの声に対して、スタッフ間で共有(朝礼・申し送り・ ミーティング)し、具体的な行動に移したか。
・多くの島民と関われるように、機関紙を配布できたか。

前回の改善計画に対する取組み結果

・見守り支援員とのミーティングや、申し送りの機会を増やしたことで、地域の高齢者の日々の変化に気付きやすくなった。
・毎月の機関紙の配布で、普段接点の少ない高齢者や地域の方と顔を合わせる機会が持てていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	4			7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	5			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	5			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	4			7

できている点

・勤務でない時も、ミーティングノートを確認し、他のスタッフから、詳しい申し送りがあった。
・地域の高齢者の暮らしぶりが以前よりも見えてきた。
・高齢者との関わりの中で、気になる点は、朝・夕の申し送り等で、共有することに努めた。

できていない点

・新規利用者に対して、これまでの関係性から、周りの目を気にしてしまう（声をかけるとその方はどう思われるのか）ことがある。
・情報共有の時間が限られていて、連絡されたことを正確に把握できていない。
・集まりに参加されない、関わりのない高齢者とは接点がほぼない。
・勤務以外では、本人や家族と話をすることがない。

次回までの具体的な改善計画

・新規の利用が開始された際、迅速にプランを立てて、必要なケアを行う。
・日常生活だけでなく、イベントに参加することも心がけ、高齢者の変化に気づく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	２０１８．３．１４
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	米倉　國部　川原　宮前　平田　前田　中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	２人	３人	人	７人

前回の改善計画

・ライフサポートプランを意識して関われたか。
・モニタリングの際に材料となる事実を、記録に残したか?
・ご本人・ご家族から、それぞれの思いを聞く場面を意識して作れたか。

前回の改善計画に対する取組み結果

・プランを振り返る機会が少なかった。
・プランへの意識が足りず、モニタリングで活かせる記録が十分でない。
・日々の意向に対しては、できるだけ早く対応するように心がけた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	5			7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	4			7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	3	1	3		7
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	3	3	1		7

できている点

・事実の記録が難しいが、心がけた。
・利用者とコミュニケーションをとり、「〇〇したい」という要望を聞き取り、具体的に動いている。
・スタッフ間で申し送り、共有できている。

できていない点

・記録として、うまく書けていない。
・目標が利用者の状況にあっていない。
・必要な記録を、後から思い出すことがある。
・日々の行事に追われがちになり、プランを念頭に入れて動けていない。

次回までの具体的な改善計画

・本人の意思を尊重したプランを作成し、定期的に更新する。
・週報の目標と評価を活用し、ニーズの見直しと確認をする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	２０１８．３．１４
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	米倉　國部　川原　宮前　平田　前田　中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	５人	人	人	７人

前回の改善計画

・本人の力を引き出す意識（立ち上がり・起き上がり・移乗・車椅子駆動・更衣・食事の準備）をしたか。
・日常生活の中で、気持ちや体調、機能低下等の変化に気づき、 記録したか。
・変化に応じて、すぐにケアに活かせたか。
・記録を元に、毎週の振り返り(24 時間シートの更新)を行えたか。
・ケア内容を生活記録に正確に記録できたか。

前回の改善計画に対する取組み結果

・勤務時間の中で、変化に応じて、ケアの継続性を保つために、申し送りの回数を増やした。
・日々のケアの見直しのために週報を作成したが、確認ができていないことがあった。
・一人の気づきを共有できていないまま、見過ごしてしまったことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	3	2	2		
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	4			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	5	1		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	3	1		7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	3	1		7

できている点

・体調や環境、気持ちの変化に気付き、対応したことを共有（申し送りや朝礼）できている。
・毎週の振り返りを継続でし、情報を共有できている。

できていない点

・振り返りについて、その日の勤務者での共有となり、全員での共有ができていないことがある。
・痛みの少ない体操の仕方を知りたい。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・書面での申し送りだけでなく、ケア（訪問前）に入る前に、勤務交代（朝昼夕）時に口頭での申し送りを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	２０１８．３．１４
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	米倉　國部　川原　宮前　平田　前田　中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	４人	３人	人	７人

前回の改善計画

・センター方式の記録を記入できたか。
・利用者を中心に、新しい繋がりを作れたか。
・地域の行事に参加できたか。

前回の改善計画に対する取組み結果

・センター方式を活用しておらず、記録の記入ができていない。
・地域の行事に参加しながら、高齢者へ参加を促し、老若男女集まる機会を作り、役割を持っていただいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3	4			7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	2	3		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	6			7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2	4	1		7

できている点

・地域の力を借りながら支援する関係づくり。
・これまでの関係性を生かした支援を心がけている。
・ミーティング等で、地域の中での支援について話し合い、共有している。

できていない点

・事業所主導イベントにおいて、高齢者へのアプローチする人員が置けず、多世代の交流を活かしきれていない。
・地域を巻き込むことが少しずつできているので、さらに色々な場面で地域で対応する仕組みを考えていけたら。
・自宅訪問での支援など、一人で関わる場面で、ケアの方法が異なっていることがある。
・コミュニケーションが不足していて、これまでの関係性への理解が浅い。

次回までの具体的な改善計画

・元気度アップの活用など、高齢者の社会参加の場づくりに取り組む。
・関係する方たちへ、運営推進会議の場で情報を提供していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	２０１８．３．１４
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	米倉　國部　川原　宮前　平田　前田　中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	３人	４人	人	人	７人

前回の改善計画
・本人、家族からのニーズを把握し、「通い・訪問・泊まり」 を提供できたか。
前回の改善計画に対する取組み結果
・自宅での生活を検討できるように、家族にアプローチすることは継続したが、本人の意向と家族の状況に違いがあり、本人の要望には応えられていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	5	1		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	4			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	3			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	3	1		7

できている点
・地域の方の力に頼れている。 ・スタッフ家族の入院時など、シフトの調整を行えている。 ・地域の高齢者に対しても、配食や泊まりの提供ができている。 ・消極的だった方も通いの利用に慣れてもらっている。

できていない点
・入浴に対する抵抗の理由に寄り添えず、入浴への介入ができていない。 ・周囲の人が必要と思うことが、本人のニーズとあっていない。

次回までの具体的な改善計画
・自分たちの想いではなく、本人の思いに寄り添ったサービス提供をプランにするために、会話、日常の中での気になったことを意識して記録する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	２０１８．３．１４
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	米倉　國部　川原　宮前　平田　前田　中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	５人	人	人	７人

前回の改善計画
・看護師への情報提供を随時行い、医療面からの指示をケアに活かせたか。 ・見守り支援活動・会議に参加・協力できたか。 ・老人会の活動に参加・協力(参加を促す声かけ等)できたか。
前回の改善計画に対する取組み結果
・診療所と連携し、医療面での必要なケアの指示を仰いだ。 ・毎週の支援会議に参加し、月に一度は常勤スタッフ全員参加での会議を実施できた。 ・老人会への活動に積極的に参加したが、活動自体が少なくなっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	1	2		7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	1	2		7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	4			7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	2	1		7

できている点
・島の行事、イベントに参加し、ご利用者も一緒に交流できている。 ・見守り支援会議への参加ができている。 ・各種団体の長を集めての運営推進会議の実施。

できていない点
・情報共有の方法が確立していないため、見守り支援会議で前回の出席者とのやりとりに対する回答ができていない。 ・老人会長と関わりが持てておらず、老人会との連携ができていない。 ・事業所を訪れる方は、決まった方が多い。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・支援会議を継続し、パート職員も全体見守り支援会議に参加できるようにする。 ・老人会の活動に働きかけ、一緒に活動を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	２０１８．３．１４
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	米倉　國部　川原　宮前　平田　前田　中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	３人	３人	１人	人	７人

前回の改善計画

・スタッフ・地域からのアイデアを共有・検討できたか。
・アイデアをタスクリストで共有し可視化できたか。
・タスクに期限を決めて、実行できたか。
・会議等で、自分の意見を出せたか

前回の改善計画に対する取組み結果

・地域の方と協働した取り組みができ始めている。（台風対策・資源ごみ回収）
・ミーティングやタスクボードなどで、意見を出し、共有、実行できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3	4			7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	4			7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	2	3		7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	5			7

できている点

・意見を拾ったら、他のスタッフにも共有した。
・スタッフが地域の色々な場面に顔を出しているため、良い方向に進んでいる。

できていない点

・やるべきことができた時点で、誰に連絡をするか、どんな段取りをするかなど想定できておらず、素早く実行に移せていない。
・事業所についての話を、地域の方とする機会が少なく、地域の方からの意見や苦情を収集できていない。
・地域からの声を運営に活かしきれていない。

次回までの具体的な改善計画

・運営推進会議だけでなく、地域の声を聞き、活かせるような場を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	２０１８．３．１４
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	米倉　國部　川原　宮前　平田　前田　中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	３人	２人	２人	人	７人

前回の改善計画
・自分のケアの目標に対して取り組めたか。 ・研修を活かし、ケアに変更があった場合、継続できていますか ・(感染・衛生)(転倒防止)(口腔・嚥下・栄養)(服薬管理) の改善担当者を定めて、毎月の評価報告を受け、改善に取り 組めたか
前回の改善計画に対する取組み結果
・隔月で面談を行い、目標の設定を行った。 ・ご利用者の状況に合わせて、医療面の研修を行った。 ・研修で学んだことは、ケアに活かせた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	2	1		7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	1	2		7
③	地域連絡会に参加していますか	2	4		1	7
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	3	3	1		7

できている点
・職場内の研修に参加している。 ・外部で研修を受けた際は、事業所でも共有する場を設けている。 ・職場内外での研修に参加し、日頃の業務に活かせている。 ・研修において、担当者を置くことで、年間を通して継続した学びの機会になった。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ケアの変更が継続できていないこともあり、変更の理由、中止の理由や状況が記録に落とせていない。 ・支援会議への参加はほとんどできていないが、記録などで共有できている。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・毎月の研修内容に、今後に必要な場面に備えての身体介助等の実技を取り入れる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	米倉　國部　川原　宮前　平田　前田　中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	３人	３人	１人	人	７人

前回の改善計画

・事業所の中での噂話を控えていただくように努めたか。
・書類を適切に管理できたか。
・言葉遣い(赤ちゃん言葉、指示語、命令語など)に注意を 払えているか。
・その人の目線に合わせて話ができているか。
・ノックして訪室できているか。

前回の改善計画に対する取組み結果

・言葉遣いがフランクになりすぎている。
・個人情報である書類などの保管について、適切に行えていない時がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	4	3			7
②	虐待は行われていない	5	2			7
③	プライバシーが守られている	3	4			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	3		7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	2	1		7

できている点

・事業所を整理し、個人情報を管理しやすいようにした。
・利用者の人権、尊厳を大切にして関わっている。
・利用者の人権を侵すような関わりはしていない。

できていない点

・成年後見制度については、今のところ、該当する方がいないのではと考えている。
・以前よりは少なくなったが、地域の方の来所時に噂話（相談）になることがある。（噂話を控えるような告知をできていない。）

次回までの具体的な改善計画

・島内だけでは対応できないケース（虐待等）について、他機関とも連携できる、一緒に考えられる機会をもつ。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果
A.事業所自己評価の確認	・ 隔月で面談を実施する際、事業所自己評価を基にした個人評価表を使用する。 ・ 地域やスタッフからの意見は、随時、年間計画に反映させ、期限を決めて計画的に改善を目指す。 ・ お誕生日のお祝いは、見守り支援活動と月単位で実施。	・ 個人評価表を作成し、ほぼ隔月で面談を実施し、事業所評価を振り返った。 ・ 地域、スタッフからの声に対して、タスクリストを作成して取り組んだ ・ 地域の高齢者の誕生日のお祝いは、見守り支援員と共同で行えた。 （反省点） ・ タスクリストの期限を決めていないことがあった。
B.事業所のしつらえ・環境	・ プライバシーを守るために、噂話は控えていただくように声かけし、必要であれば、「相談」として話を聞くなど、公的な場であることに配慮する。 ・ 来所者を受け入れる時間を決める。（１０：３０～１１：３０　　１４：００～１５：３０） ・ 屋外での活動を増やし、スタッフが間に入って、利用者と来所者の会話のきっかけを作る。 ・ 消毒液やポスターをわかりやすい場所に設置し、手洗いうがい等の重要性を、地域の方にも啓発していく。	・ 地域の来所された際の会話について、不利益を被る場合は、控えていただくように促した。 ・ 掲示板を活用し、来所者を受け入れる時間帯や催しの周知を行った。 ・ ご利用者と洗濯物を干したり、昼食を食べたり、ラジオ体操を実施したりするなど、庭を活用して外から声をかけてもらう機会を作った。 ・ 感染症が流行る時期には、特に手洗いうがいの声かけを意識して行い、ポスターの掲示を行った。 （反省点） ・ 噂話への対応について、「相談」として聞けていない。慎重に関わるべきケースもあり、得た情報を具体的な行動に移せていない。
C.事業所と地域のかかわり	・ 高齢者が集まる場は、老人会活動やサロン活動をバックアップすることで作る。 ・ 「世話になる場所」ではなく、「自分でできることを助ける場」であることを周知する。 ・ たから主催で行うのではなく、老人会、見守り支援活動、いまきら園、学校などとの連携を大事にする。	・ 老人会活動や見守り支援活動に参加し、本人同士の交流を促した。 ・ 機関紙を通して、ご利用者の普段の自分でできることをされている姿や様子を発信した。 ・ 地域の行事には積極的に参加し、地域の高齢者にも参加を促す声かけをした。また、遊食会を地域の方の協力を頂き、実施できた。 （反省点） ・ 各種団体の行事には参加したが、協働で行うことが少なかった。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・ スタッフが出向くことで、心配な高齢者とのつながりを作っていく。 ・ たからスタッフは本人のニーズに気付き、適切に地域資源とつなげ問題解決を行う。 ・ 田畑や果樹を高齢者の活躍の場として利用し、高齢者同士や若い世代との交流を促す。	・ おすそ分けやお礼など、日常生活でのことを生かし、関わりを持った。 ・ 地域の困りごと（資源ごみ・台風対策）を、地域で解決する仕組みを作った。 ・ スタッフ自身が、一緒に農作業をし、高齢者の活躍の場を作れた。
		（反省点） ・ これまでの関わりのあった方以外との新しい交流の機会は少なかった。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・ 地域の課題を話し合う場として、必要に応じて、関係する方に声をかけ、会議の場を設定する。	・ 地域の困りごと（資源ごみ・台風対策）を、地域で解決する仕組みを作った。 ・ 議題ごとに、多くの方に参加していただくことで、地域の方も高齢者の現状を知る機会になった。
		（反省点） ・ 会議の雰囲気として、意見が出しにくい。より意見の出しやすい場にしていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	・ 4 月中に近隣教員との関係づくりの場を設ける。 ・ スタッフは隔月で災害時の動き方について確認、シミュレーションする。 ・ 消防団との情報共有を定期的に行い、緊急時の動き方を確認する。	・ 4 月中に顔合わせを兼ねた食事会を実施できた。 ・ 隔月で様々なシチュエーションでの避難訓練を実施した。 ・ 消防団との情報共有は、参加、協力いただいた訓練の際に行えた。
		（反省点） ・ 情報共有を、定期的には行えていない。